

## 能登半島地震を踏まえた今後の地震防災対策について

### 1 要旨・目的

令和6年能登半島地震で生じた課題等を踏まえ、本県における今後の地震防災対策の更なる強化に取り組む。

とりわけ、被災者支援の強化に向けては、総合的な対策に取り組むこととし、有識者を含めた検討会を開催する。

### 2 現状・背景

能登半島地震においては、道路の寸断による人命救助や物資輸送の難航、耐震性の低い家屋の倒壊、避難所における生活環境の悪化や備蓄の不足など、様々な課題が顕在化した。

国においては、現在、能登半島地震で生じた課題について検討が行われているところであるが、本県においても、こうした課題や広島県地震被害想定の変更内容なども踏まえ、今後の地震防災対策の強化に取り組む必要がある。

### 3 概要

ハード・ソフト一体となった地震防災対策の強化を図るため、能登半島地震で発生した課題や本県の現状、今後の取組について検討を進める。

また、今回の地震は、厳冬期に、高齢化の割合が高い地域で発生するとともに、避難所における生活環境の悪化や備蓄の不足など、避難生活に関する様々な課題が生じ、被災者支援の重要性が改めて認識されたところである。

こうした課題は本県においても生じ得ることを踏まえ、被災者支援の強化を図ることとし、学識経験者等の有識者を含めた検討会を開催して、総合的な対策について検討する。

#### 【検討会における検討テーマ（案）】

- ・ 災害のフェーズに応じた被災者支援策
- ・ 避難所の環境整備
- ・ 孤立集落支援
- ・ 物資調達・輸送

※ 検討テーマについては、有識者の意見も伺いながら決定する。

#### 4 検討会委員名簿

所 属	職 名	氏 名
関西大学社会安全学部	教 授	奥村 与志弘
広島大学大学院医系科学研究科	教 授	久保 達彦
株式会社 サイエンスクラフト	代表取締役社長	竹本 加良子
名古屋大学減災連携研究センター	准教授	平山 修久
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科	准教授	紅谷 昇平
特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	事務局長	明城 徹也

※国が行っている能登半島地震の検証作業の内容などに応じ、適宜、上記以外の有識者の追加を検討する。

#### 5 スケジュール

年内を目処に検討を進め、今後の地震防災対策の方向性をとりまとめるとともに、着手可能な対策から順次実施する。

また、令和7年10月を目処に改定を予定している広島県地震被害想定の内容について、今後の地震防災対策に反映させる。

検討会については、令和6年7月を目処に第1回検討会を開催し、有識者等の意見を伺いながら作業を進め、対策に反映させる。